

本と友達になろう！

全校生徒の皆さん、新学期が始まり1か月近く経ちますが、高校生活はいかがでしょう。新学期は出会いの季節ですが、人との出会いだけでなく、いい本との出会いにより、高校生活がより充実したものになることを期待しています。そこで、たくさんの、いい本との出会いのために、図書館や本に関する情報提供として、今年度も「図書館だより」を発行します。

まず、皆さんに「本を読む」だけでなく、「本と友達になる」ことをお勧めします。

「本と友達になる」手順は、次のとおりです。

気になった本、読みたいと思った本を、自分の机の手が届くところに2, 3冊置いておく。

文庫本ならカバンにいつも入れておく。読んでもいいし、読まなくてもいい。

本は、あなたが読みたいと思ったときに、いつでも喜んで付き合ってくれます。

本は、いつでもどこ、どこからどこまで読んでもいい。

最後まで読んでも、途中でやめてもいい。自由な行いです。

本は背中に大きく名前を書いて、誰かが読んでくれるのを待っています。

本と友達になる。手始めに、気になる本を2, 3冊、自分の机に立ててみましょう。

本と友達になるために、図書館にぜひ来てください。

本校の図書室紹介

※ 4月23日(火)から利用できるようになります。

○ 第3教棟の3階にあります。

○ 開館は開校日の昼休みと放課後。

昼休みは13:00~13:25、放課後は30分程度の開館です。

○ 貸出期間は2週間。1回につき2冊まで借りることができます。

○ 室内では飲食は禁止です。

○ 新聞2紙(朝日新聞、愛媛新聞)と「すてきにハンドメイド」

「きょうの料理」「ダ・ヴィンチ」を定期購読しています。

○ 本を借りる場合は必ず帯出カードに内容を記入し、帯出カードを図書委員に渡してください。



朝の読書について

今年度も、年間を通して朝の読書を行います。

朝8時40分からの5分間ですが、積み重ねると1か月で約100分、読書がで

きます。みなさんが読書に親しむ機会を増やすことと、1日のスタートに

落ち着いた静寂な時間を作ることが目的です。1学期の朝読書は、

4月22日(月)から始まっています。

クラスのみんなで協力して、良い時間にしましょう。

☆お願い☆ 自分で本を準備しましょう。(漫画、雑誌はだめです)

図書館や「みんなのリレー本棚」を利用してください。

私語や宿題はしないようにしましょう。



集英社文庫 100 冊セット

卒業生の曾我部愛さんが、令和4年度第42回全国高校生読書体験記コンクールで優秀賞を受賞し、副賞として出版社から100冊の本が届きました。

各クラスに100冊のリストを掲示していますが、どれも高校生にとって読みやすい本ばかりです。図書館入って、右側の棚に置いてあります。ぜひ、図書館に来て、手にとってみてください。

みんなのリレー本棚設置



職員室前にみんなのリレー本棚を設置しています。リレー本棚にある本は先生方や先輩方、皆さんの友達が寄付して下さった大切な本です。自分が興味関心を持った本は、持ち帰っても構いませんが、後日で良いので、代わりの本を寄付して下さい。持ち帰った本を返してもらっても構いません。

寄付する本は、高校生が読むのにふさわしい本をお願いします。利用について相談がある人は、研修図書課、職員室の小田原先生、河野先生、事務室の伊藤信子先生まで申し出て下さい。

私のおすすめの一冊

今年度、新しく赴任された先生方から、おすすめの一冊や愛読書を紹介していただきます。

☆☆ 小田原 寛 先生より ☆☆

『勉強が面白くなる瞬間』パク・ソンヒョク 著

この本は2022年全国高校ビブリオバトル大会グランドチャンプ本となった本です。私は、たまたまビブリオ全国大会のこの本の紹介の動画を見て、読みたくてたまらなくなり、すぐにネットで購入して読んでみました。ビブリオで高校生がまず強調したのは、勉強に入る前の姿勢のことでした。「皆さん、腰を椅子に深くかけ、背筋を伸ばして座ってみてください」という呼びかけから始まり、私も、すぐに腰を椅子の奥で立て背筋を伸ばしてみたところ、集中力がぐっと増し話に聞き入ることができました。このように、「勉強に意欲を生む七つの習慣」をはじめ、

○勉強に手遅れなんてない！

○苦しくても頑張ろうと決めた瞬間、すべてが変わる！

○人生で最高に勉強に適した日は今日である！

などの、やる気を引き起こす言葉が並んでいます。筆者は、激しい受験競争で知られている韓国の人です。単なるマニュアル本というより、愛情に満ちた応援ソングのような本です。この本は、学生だけでなく、読んだ社会人が、様々な資格試験を受験する人が増えたそうです。とにかく、読んでみてください。勉強に対する考え方がガラッと変わり、背筋をピンと伸ばして勉強している自分に気づくでしょう。

これを読んだら、誰でもすぐに勉強がしたくなる！！

(この本は図書館、入ってすぐの新刊コーナーにあります)

